

人間発達学部
KODERA Takayuki
PROFILE
職名
人間発達学部 児童教育学科教授
学歴
東京学芸大学大学院教育学 研究科数学教育専攻修士課程 修了（2004）
学位
修士（教育学）（東京学芸大 学、2004）
所属学会
教育科学研究会、日本数学 教育学会、日本総合学習学 会、日本教育方法学会、数 学教育協議会
専門分野
数学教育学

小寺 隆幸

こでら たかゆき

研究課題1 ● 数学的モデル化

研究課題2 ● 数学的リテラシー論

研究課題3 ● 数学教育と環境教育の連携についての研究

業 績

【著書】

『新数学教育実践講座 第18巻』/「スヌーピーの変身」/ニチブン、1988年5月、共著。

『操作とゲームによる数学重要教材指導法・中学3年』/「2次関数」/明治図書、1992年2月、共著。

『関数で視る環境問題』/東京書籍ブックレットNo.1、1993年2月、単著。

『エッシャー図形に挑戦—しきつめによるデザイン構成』/東京書籍ブックレットNo.2、1993年10月、単著。

『実験数学のすすめ』/「スヌーピーの変身」/国土社、1995年5月、共著。

『電卓なるほど活用術』/「電卓が開く中学の授業」/国土社、1995年9月、共著。

『数学の窓の開け方』/「九九表の秘密」「環境と関数」「運送料金はいくら」「正方形作りからピタゴラスの定理」/東京書籍、1996年7月、共著。

『地球を救え！数学探偵団』/国土社、1999年1月、単著。

『マルチメディアと教育』/「数学するとはどういうことか」/太郎次郎社、1999年1月、共著

『地球温暖化問題を関数で考える』/東京書籍ブックレットNo.6、1999年1月、単著。

『時代は動く！どうする算数・数学教育』/「第10章カリキュラム構成の視点」/国土社、1999年2月、共編著。

『環境問題を関数で考える—開かれた数学教育を目指して』/慶應義塾大学文学部発行、2000年3月、単著。

『学力を問う』/「関数を使うと見えない未来が見えてくる」/草土文化、2001年7月、共著。

『どうしたら数学ができるようになるか・中学校編』/「第3部 関数で見える世界」「第6部 総合学習と数学」/日本評論社、2001年11月、共著。

『数学で考える環境問題』/明治図書、2004年8月、単著。

『習熟度別授業で学力は育つか』/「はじめに」「子どもたちの学びあいを断ち切り学力差を拡大する可能性」/明石書店、2005年8月、共編著。

『授業改革を目指す学習集団の実践 [中学校]』/「対象と仲間との対話を通して数学を創る」/明治図書、2005年8月、共著。

『教育方法35 学習意欲を高める授業』/「数学の世界を読み解く授業を」/図書文化、2006年10月、共著。

『世界をひらく数学的リテラシー』/「市民のリテラシーとしての数学」「おわりに」/明石書店、2007年1月、共編著。

『算数・数学って怖くない』/「社会と結びつくアンテナを持とう」/成文堂、2007年4月、共著。

『教育方法38 言語の力を育てる教育方法』/「算数、数学科における言語指導」/

図書文化、2009年10月、共著。

『方程式に強くなる!!』明治図書、2009年12月、単著。

【学術論文】

『Mathematical Modeling of Environmental Issues』/8th International Congress of Math Education、1996年7月、単著。

『現実の事象のモデル化を重視する数学カリキュラム』/日本数学教育学会YEAR BOOK「算数数学カリキュラムの改革へ」第13章、1999年3月、単著。

『新しい時代の数学教育』/教育2000年6月号、2000年6月、単著。

『Considering the issue of global warming through mathematics.』/9th International Congress of Math Education、2000年7月、単著。

『事象の変化を差分でとらえる力を育てる中学校の関数指導』/日本数学教育学会誌 vol.85 No.11「数学教育」57-6、2003年8月、単著。

『現実事象を扱う中学校関数教材の開発とその授業実践に関する研究—変化を差分でとらえることに着目して—』/『学芸大数学教育研究』第16号、2004年3月、単著。

『中学校数学の『学力調査』を分析する視点—東京都『児童・生徒の学力向上を図るための調査』の検討を通して—』/『教育目標・評価学会紀要』第14号、2004年10月、単著。

『現実事象から数学を創る教材の開発—タンチョウの個体数変化から差分方程式へ』/日本数学教育学会第37回数学教育論文発表会論文集、2004年11月、単著。

『中学校における二変数関数の指導についての考察』/『学芸大数学教育研究』第17号、2005年4月、単著。

『定型的習熟の競争へ駆り立てる危険性』/『教育』2005年10月号、2005年10月、単著。

『現代的課題を考える総合学習での数学の役割』/日本総合学習学会2005年度年会発表論文集、2005年11月、単著。

『データ解析と関数を結びつける指導の考察』/『学芸大数学教育研究』第18号、2006年11月、単著。

『教育について深く考え始めた学生たち—「教職入門」の授業の意義と課題—』/『京都橋大学研究紀要』第34号、2008年1月、単著。

『批判的な視点を欠いた操作的な「活用」の危険性』/『教育』2008年2月、単著。

『批判的精神を育む統計リテラシーの授業を』/『学芸大数学教育研究』第20号、2008年5月、単著。

『関数関係を探求する力を伸ばす数学的活動』/『数学教育』、2008年11月、単著。

『グループ学習で学び合う力を育てる』/『数学教育』、2008年12月、単著。

『学テの実践的批判のために』/『教育』2009年2月、単著。

『ひたむきに事実に向き合い問い続ける子どもたち』/日本総合学習学会誌、2010年2月、単著。

『成長のモデルを中学生はどう構成したか』/学芸大学数学教育研究22号、2010年6月、単著。

『離散的变化を組み込んだ中学関数指導についての提案』/日本数学教育学会第43回数学教育論文発表会論文集、2010年11月、単著。

【その他】

『中学数学で環境問題を考える』/『全国国際理解教育研究協議会「世界を開く教育」』第23巻、2001年8月、単著。

『市民としての判断力を育む数学教育を』/『人間と教育』33号、2002年2月、単著。

『旅を通しての成長の物語—ポーランドの子供たちのキャンプに参加して』/『母と子』2002年3月号、単著/4月号、単著。

『中学生は一次性をどのように認識するか』/『理科教室』2005年12月号、単著。

『核への想像力』～「原爆の図とチェルノブイリ」/『戦争と性』第27号2008年春号、2008年4月、単著。

『心に広がる数学、それを通じて世界と出会う授業をめざして』/『戦後教育実践に学ぶ』、日本教育学会近畿地区研究会、2008年7月、単著。